

地区社協講座研修メニュー

NO2, 3, 4, 16については、地区社協専用ページに詳細版を掲載しています。

※ GW(グループワーク)

| 目的 | NO | 名称 | 形式 | 対象 | 内容 | 時間(程度) | 備考 |
|------------------|----|--|----------------|---|--|----------------|--|
| 見守り強化 | 1 | 見守り支援活動関係者の情報交換会 | GW | 福祉委員 民生児童委員 自治会長 保健衛生推進員 必要に応じて 老人家庭相談員や障害者相談員 | 見守り関係者がひとり暮らし高齢者等の要支援者一人ひとりについて情報交換を行い、見守り支援方法について確認を行う。NO2, 3の地域支え合いマップ作りと併用して行うことも可能。グループは、民生委員の担当エリア毎に分かれて行う。 | 30分～1時間 | |
| | 2 | 地域支え合いマップの導入 | 講義 GW | 福祉委員 民生児童委員 自治会長 | 支え合い・助け合いの体制づくりの一環の「ツール」として「支え合いマップ」の作成方法や取り扱いについて学ぶ。 | 45分 | |
| | 3 | 地域支え合いマップの活用 | 講義 GW | 福祉委員 民生児童委員 自治会長 | 対象者の友人、知り合い、よく行くお店、場所(畑、病院)を分かる範囲で地図に書き込む等、地域全体で対象者を見守る方法について学ぶ。 避難場所や危険地帯の書き込み、救助の優先の高い方等の目印を付ける等、防災マップとしての活用についても学ぶ。 | 45分 | |
| | 4 | 助け合い体験ゲーム「これであなたも助けられ・見守られ上手」 | 講義 GW | 地区住民(青少年も含む) | ご近所や仲間たちの助け合いがいかに大事か、また、助けてほしいと声を出すこともいかに大事かを、このゲームを通して理解を深める。参加者一人一人が持っている知識や特技、アイデアを再認識することもでき、地区での助け合い活動のきっかけづくりになるゲーム。 | 30分～1時間 | |
| 意識啓発 | 5 | 住民懇談会 | GW | 地区住民(青少年も含む) | 福祉のまちづくりのための住民懇談会を開催する。参加者同士で意見交換して、地域の現状を共有し、地域課題の解決のために地域でできることは何かを話し合う。話し合いの内容を、地区社協事業に反映していく。 | 1～2時間 | |
| | 6 | 福祉って？社協って？社協活動についての説明 | 講義 | 地区住民(青少年も含む) | 福祉や市社協、地区社協活動についての基礎的なことを学ぶ。 | 30分～1時間 | |
| 福祉や介護に関する知識、技術習得 | 7 | 介護講習会 | 講義 実技 | 地区住民 | 認知症予防、福祉用具の使い方、介護方法などをテーマに専門の講師が、講義、実技指導を行う。 具体的な内容については、都度相談。 | 1～2時間 | 講師 福井県介護実習普及センター(福井県社協) 講師謝金や資料代等は、福井県介護実習普及センター(福井県社協)が負担 1地区1回まで |
| | 8 | 介護保険制度や福祉サービスに関する講座 | 講義 | 福祉委員 民生児童委員 自治会長 | 介護保険制度や、在宅福祉サービス、包括支援センターの役割、事例検討他要望に応じたテーマの講義、説明を行う。 | 30分～1時間 | |
| | 9 | 福祉学習サポーター講座 | 講義 実技 演習 | 福祉委員 民生児童委員他関心のある方 | 地域で福祉教育など福祉学習を支援する時の手法について学ぶ。ふれあい福祉まつり等の体験コーナーの指導に活かすこともできる。 | 1時間30分～ 2時間 | |
| | 10 | 場の緊張をほぐし、世代を超えた多様なつながりを生み出すファシリテーション研修 | 実技 | 地区社協役員、福祉委員、民生委員児童委員他、関心のある方 | トークフォークダンス等、ファシリテーションの手法を学び、地域福祉活動を共に進める仲間づくりに取り組みたい方、チャレンジしてみたい方の研修。 | 1～2時間 | 参考:見守り活動に関する研修会(R4. 11. 28) テーマ:みんなの「楽しかった～」が生まれる地域福祉活動 講師:NPO法人 ハンズオン埼玉 常務理事 西川 正 氏 |
| | 11 | 市民向けゲートキーパー研修会 | 講義 GW | 地区社協役員、福祉委員、民生委員児童委員他、関心のある方 | 悩んでいる人に気づき、どう見守るかなど、講義とGWを通して適切な対応を学ぶ研修会。自殺予防に関する市民向けのやさしい内容。 | 1時間30分～ 2時間 | |

| 目的 | NO | 名称 | 形式 | 対象 | 内容 | 時間(程度) | 備考 |
|----------|----|--------------------------|----------------|---------------------------------|--|--------------------------|--|
| 認知症理解 | 12 | 認知症サポーター養成講座 | 講義 | 地区社協役員 福祉委員 地区住民 | 認知症の方々やそのご家族のよき理解者を増やすための研修会。認知症に関する正しい理解や予備知識を深め、住みやすい環境づくりを推進する。 <メニュー例> ①認知症に関する説明や寸劇、クイズ ②認知症に関する説明やクイズ | 1時間30分 | 資料代等は市と応相談 受講は10名程度から |
| | 13 | 認知症ひとり歩き見守り活動(ひとり歩き模擬訓練) | 講義 訓練 | 地区住民(青少年も含む) | 認知症による行方不明者の事案を未然に防止するため、地域住民が認知症の正しい知識を持ち、認知症の高齢者に声を掛け、適切な対応等を学ぶことをとおして、認知症になっても安心して暮らし続けることができる地域を目指すために、実施する。 <メニュー> ①認知症に関する講演会や認知症サポーター養成講座 ②模擬訓練(認知症の役の人への声かけや対応等の体験) | | 講師謝金と資料代等市と応相談 |
| 防災 | 14 | 避難行動要支援者の支援についての情報交換 | GW | 福祉委員 民生児童委員 自治会長 自主防災会 | 避難行動要支援者名簿に基づいて関係者が集まり、見守りや災害時の支援について情報交換を行う。 | 45分 | 避難行動要支援者名簿は春と秋の年2回更新 |
| | 15 | 防災講座 | 講義 演習 | 地区内関係者 | 災害時に備え、避難行動要支援者(高齢者や障害者)の対応に必要な知識・方法・技術などを学ぶ。 <メニュー>①～④の中から選択。(一講座で複数のメニューの組み合わせも可能) ①講演 ②支え合いマップを使った講座 ③障害者への対応 ④体験型防災講座(下記の3つを一講座で行います) ・段ボールハウス造り ・災害伝言ダイヤルの説明 ・緊急時の対応など | 1時間30分～ 2時間 | 講師謝金 基本2～3万円(地区社協で負担) 地区社協役員や福祉委員等の研修と併催も可能 |
| ボランティア推進 | 16 | 地区社協のニーズに応じたボランティア講座 | 講義 演習 実技 | 地区住民(青少年も含む) | 地区社協が求めるボランティアを養成するために開催するボランティア講座。地区単位またはブロック単位で開催。ボランティアの啓発、技術、入門他、地区とブロック担当者が話し合いの上、内容を決定する。 ボランティアの入門講座から、必要な知識や実技などを学ぶ講座まで、内容は自由。 <メニュー例> ①ボランティアのすすめ ②こころのバリアフリー(当事者のお話) ③車いすやアイマスク等の体験講座 ④目的別実技講座(配食、介護、傾聴、レクリエーション他) ⑤その他 | 1～2時間 内容によって複数回開催の場合有 | |
| | 17 | ボランティア募集のためのコーディネート研修 | 講義 演習 | 地区社協役員 関心のある地区住民 | 地区のニーズに応じたボランティア募集を行うために、手法を学ぶ研修。企画から調整方法までを学ぶ。 | 1～2時間 | |
| ICT活用推進 | 18 | ICT活用相談 | 相談 | 地区社協役員 | ICTを活用して地域福祉活動に取り組みたい方、チャレンジしてみたい方の相談会。 | 1時間程度 | 講師謝金と資料代等、要相談 |